

平成24年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年11月8日

上場会社名 築地魚市場 株式会社

上場取引所 東

コード番号 8039 URL <http://www.tsukiji-uoichiba.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣石 清治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 大竹 利夫

TEL 03-3541-6312

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	41,245	0.9	7		51		53	
23年3月期第2四半期	40,858	1.8	223		164		180	

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 1百万円 (%) 23年3月期第2四半期 706百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.38	
23年3月期第2四半期	8.03	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	19,183	6,365	33.2
23年3月期	19,196	6,431	33.5

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,365百万円 23年3月期 6,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期				3.00	3.00
24年3月期					
24年3月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の公表については、本日(平成23年11月8日)公表いたしました「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	85,000	0.3	150		200		80		3.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成23年11月8日)公表いたしました「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、[添付資料]P.3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	22,475,208 株	23年3月期	22,475,208 株
24年3月期2Q	27,871 株	23年3月期	27,871 株
24年3月期2Q	22,447,337 株	23年3月期2Q	22,449,890 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

まず始めに、この度の東日本大震災により被害を受けたお取引先の皆様の一日も早い復興を、役職員一同、衷心よりお祈り申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州やアメリカの経済不安等による円高が一向に収まらないことで日本企業の収益を圧迫し始め、また先の東日本大震災からの復興もなかなか進展を見せず、原子力発電所の事故による放射能汚染問題が拡大するなど、先行きの不透明感が拭えない状況にあります。

水産物卸売業界においても厳しい状況は変わらず、卸売市場経由率が依然として低下しており取扱数量は減少傾向にあり、一方消費者は食に対する安全、安心を求め、なおかつ低価格志向がますます強まる気配を見せ、非常に厳しい状況が続いております。

このような状況下で当社グループは、積極的な営業活動の展開と、与信管理、内部管理体制の強化をこれまでもまして一段と強化してきました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、水産物の取扱数量が微増、平均単価はほぼ横ばいとなっており、412億45百万円（前年同期は408億58百万円）、営業損失は7百万円（前年同期は2億23百万円の営業損失）、経常利益は51百万円（前年同期は1億64百万円の経常損失）、四半期純損失は53百万円（前年同期は1億80百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

水産物卸売業においては、取扱数量はほぼ横ばいでしたが単価がやや回復したことにより、売上高408億64百万円（前年同期は404億76百万円）となり、また営業費用を削減し収益の改善に努めましたが、セグメント損失は99百万円（前年同期は3億8百万円のセグメント損失）となりました。冷蔵倉庫業においては、取扱量はほぼ横ばいとなり、売上高は2億37百万円（前年同期は2億55百万円）、セグメント利益1百万円（前年同期は4百万円のセグメント利益）となりました。不動産賃貸業においては新たに取得した物件が本格稼働したことにより、売上高1億54百万円（前年同期は1億47百万円）、セグメント利益89百万円（前年同期は81百万円のセグメント利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は191億83百万円となり、前連結会計年度末に比べ12百万円減少いたしました。流動資産は110億58百万円となり、1億34百万円増加いたしました。これは年末の需要を見込み商品が増加したことや、商品の誘引のため前渡金が増加したことによるものです。固定資産は81億24百万円となり、1億47百万円減少いたしました。これは主に投資有価証券の市場価格の下落によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の負債は128億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ53百万円増加いたしました。流動負債は107億96百万円となり、1億36百万円増加いたしました。これは主に仕入債務の増加によるものです。固定負債は20億21百万円となり、83百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の返済によるものです。

上記の結果、当第2四半期連結会計期間末の純資産は63億65百万円となり66百万円減少いたしました。これは主に剰余金の減少によるものです。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の33.50%から33.18%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億17百万円減少し、12億89百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権は減少しましたが、たな卸資産の増加等により3億87百万円の支出（前年同期は14億59百万円の支出）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、投資有価証券の売却等により73百万円の収入（前年同期は3億21百万円の支出）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済等により2億3百万円の支出（前年同期は9億90百万円の収入）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、平成23年6月20日に公表いたしました通期の連結予想を修正いたしております。詳細につきましては、平成23年11月8日公表の「業績予想との差異及び業績予想の修正並びに配当予想の公表に関するお知らせ」をご参照ください。

平成24年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	83,300	200	280	270	12 3
今回修正予想(B)	85,000	150	200	80	3 56
増減額(B-A)	1,700	50	80	190	-
増減率(%)	2.0	25.0	28.6	70.4	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	85,256	234	113	599	26 71

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	78,000	100	210	200	8 91
今回修正予想(B)	81,000	100	120	20	0 89
増減額(B-A)	3,000	0	90	180	-
増減率(%)	3.8	0.0	42.9	90.0	-
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	80,519	242	94	586	26 12

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,807	1,289
受取手形及び売掛金	5,083	4,520
前渡金	173	388
商品及び製品	3,824	4,734
原材料及び貯蔵品	66	27
その他	319	428
貸倒引当金	350	330
流動資産合計	10,923	11,058
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,148	2,097
その他(純額)	1,108	1,102
有形固定資産合計	3,256	3,199
無形固定資産	92	89
投資その他の資産		
投資有価証券	4,825	4,738
その他	173	184
貸倒引当金	75	87
投資その他の資産合計	4,922	4,835
固定資産合計	8,272	8,124
資産合計	19,196	19,183
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,445	2,512
短期借入金	7,771	7,781
未払法人税等	12	9
賞与引当金	39	47
その他	391	446
流動負債合計	10,660	10,796
固定負債		
長期借入金	747	677
長期未払金	67	54
繰延税金負債	84	84
退職給付引当金	568	573
その他	636	632
固定負債合計	2,104	2,021
負債合計	12,764	12,818

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,037	2,037
資本剰余金	1,309	1,309
利益剰余金	3,969	3,849
自己株式	5	5
株主資本合計	7,311	7,190
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	896	841
繰延ヘッジ損益	0	0
土地再評価差額金	16	16
その他の包括利益累計額合計	879	825
純資産合計	6,431	6,365
負債純資産合計	19,196	19,183

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	40,858	41,245
売上原価	38,948	39,203
売上総利益	1,909	2,042
販売費及び一般管理費	2,133	2,049
営業損失()	223	7
営業外収益		
受取利息	13	5
受取配当金	53	52
有価証券運用益	39	45
その他	13	21
営業外収益合計	120	125
営業外費用		
支払利息	53	53
その他	8	12
営業外費用合計	62	66
経常利益又は経常損失()	164	51
特別利益		
貸倒引当金戻入額	15	-
特別利益合計	15	-
特別損失		
投資有価証券評価損	25	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	-
訴訟和解金等	-	83
特別損失合計	29	103
税金等調整前四半期純損失()	178	52
法人税等	1	1
少数株主損益調整前四半期純損失()	180	53
四半期純損失()	180	53

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	180	53
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	527	54
繰延ヘッジ損益	2	0
その他の包括利益合計	525	54
四半期包括利益	706	1
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	706	1
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	178	52
減価償却費	97	98
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	15	8
賞与引当金の増減額(は減少)	2	8
長期未払金の増減額(は減少)	0	13
退職給付引当金の増減額(は減少)	15	5
受取利息及び受取配当金	67	58
支払利息	53	53
投資有価証券売却損益(は益)	73	48
有価証券運用損益(は益)	33	2
投資有価証券評価損益(は益)	25	19
訴訟和解金等	-	83
売上債権の増減額(は増加)	299	552
たな卸資産の増減額(は増加)	1,075	871
前渡金の増減額(は増加)	221	215
仕入債務の増減額(は減少)	589	66
その他	208	66
小計	1,456	310
訴訟和解金等の支払額	-	74
法人税等の支払額	3	3
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,459	387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(は増加)	15	-
有形固定資産の取得による支出	462	14
投資有価証券の取得による支出	816	58
投資有価証券の売却による収入	868	91
貸付けによる支出	2	2
貸付金の回収による収入	8	2
利息及び配当金の受取額	71	57
その他	4	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	321	73
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,030	10
長期借入れによる収入	200	-
長期借入金の返済による支出	62	75
自己株式の取得による支出	0	-
利息の支払額	48	48
配当金の支払額	110	67
その他	17	21
財務活動によるキャッシュ・フロー	990	203
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	791	517
現金及び現金同等物の期首残高	1,680	1,807
現金及び現金同等物の四半期末残高	889	1,289

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	40,476	234	147	40,858	-	40,858
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	21	0	21	(21)	-
計	40,476	255	147	40,879	(21)	40,858
セグメント利益又は損失()	308	4	81	223	-	223

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	水産物卸売業	冷蔵倉庫業	不動産賃貸業	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
売上高						
外部顧客への売上高	40,864	226	154	41,245	-	41,245
セグメント間の内部売上高又は 振替高	-	10	0	10	(10)	-
計	40,864	237	154	41,256	(10)	41,245
セグメント利益又は損失()	99	1	89	7	-	7

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。